

中国景気概況(2022年3月)

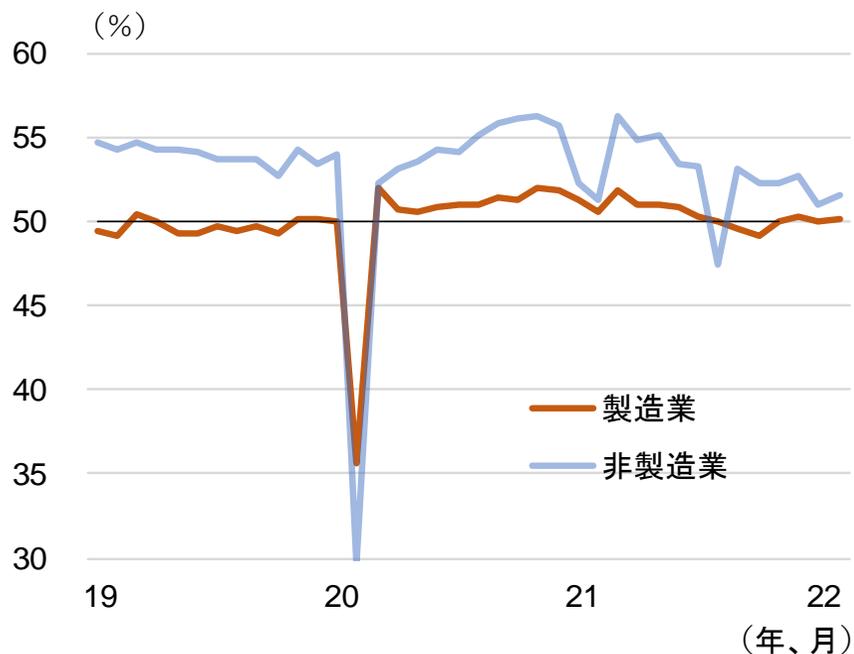
2022年3月2日

調査部 研究員 丸山 健太

景気は減速も、足元で持ち直しの動き

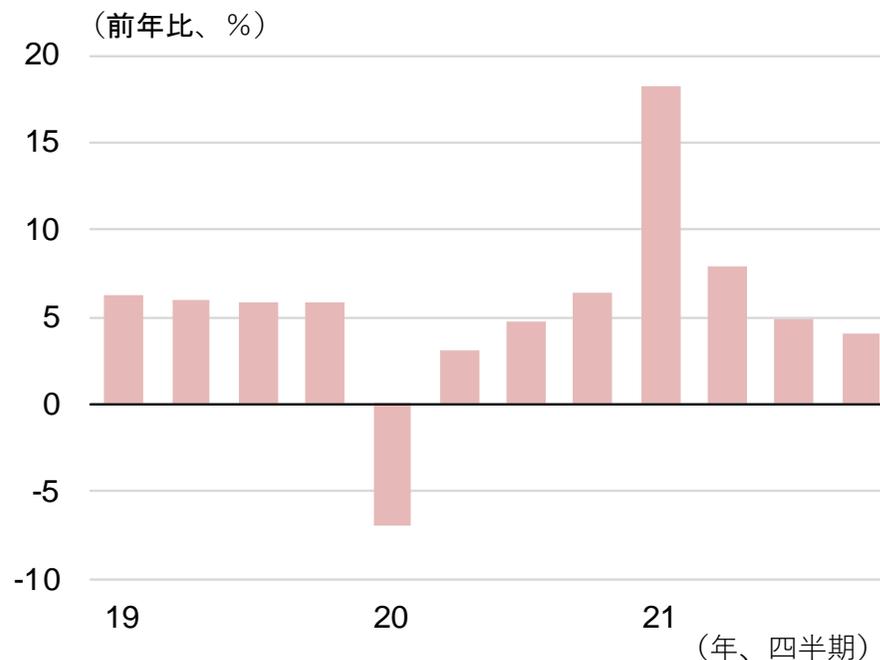
中国景気は減速している。2021年第4四半期の実質GDP成長率は前年比+4.0%と鈍化した。もともと、足元では持ち直しの動きもみられる。2月のPMIIは、製造業が好不況の境目となる50を4ヶ月連続で、非製造業は6ヶ月連続で上回った。ただし、規模別では、製造業・中小零細企業が10ヶ月連続で50を下回るなど、ゼロコロナ政策にともなう行動制限やコスト高の影響には注意が必要である。

PMI



(出所) 国家統計局

実質GDP(四半期)



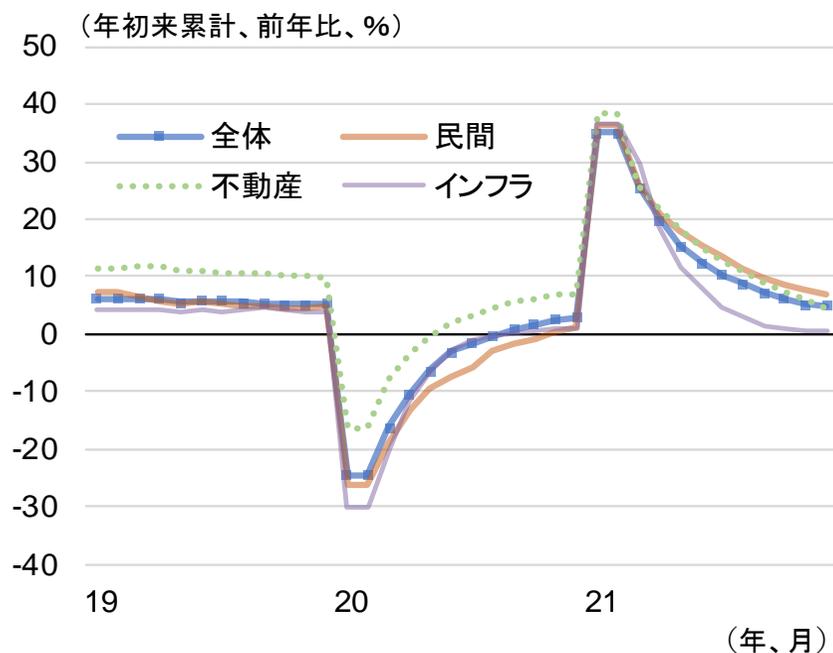
(出所) 国家統計局

固定資産投資は増勢が鈍化、生産は持ち直しの動き

12月の固定資産投資（年初来累計値）は、前年比+4.9%と増加幅縮小が続いた。特にインフラ投資の伸びの鈍化が目立つ。地方政府はインフラ債の発行を加速させたが、投資基準の厳格化などもあり、投資の増加にはつなげていない。

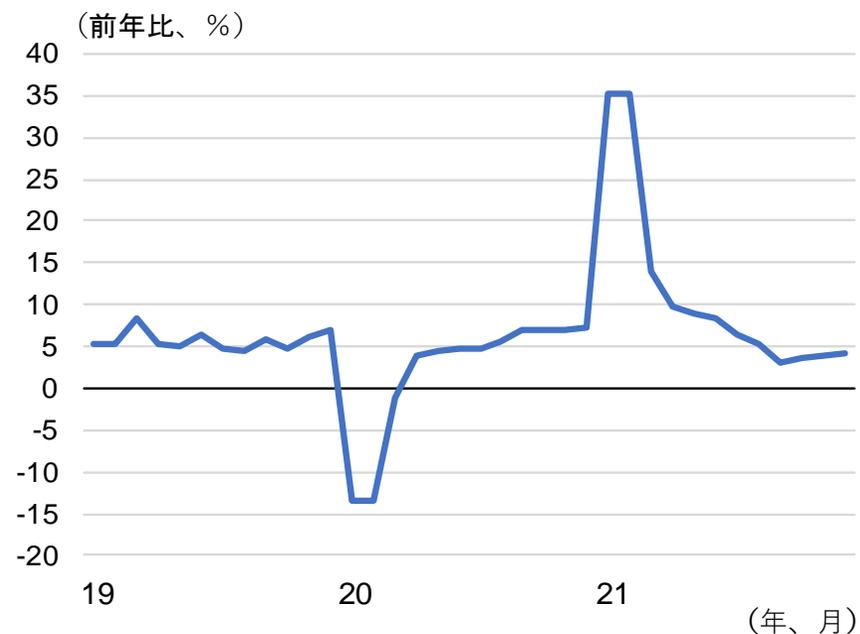
12月の工業生産は、前年比+4.3%と増加幅は拡大した。半導体など部品不足が解消に向かっている自動車や、環境規制強化の影響が一巡した鉄鋼やセメントを中心に、持ち直しの動きがみられる。

固定資産投資



(出所) 国家統計局

工業生産



(出所) 国家統計局

消費は低迷続く、物価は上昇幅縮小

12月の小売売上高(名目)は前年比+1.7%と、増加幅は縮小した。特に、部品不足による減産の影響で自動車販売の減少が続いたほか、ゼロコロナ政策で局所的に厳しい行動制限が課され、飲食サービス消費は同一-2.2%と2ヶ月連続で減少した。2月も北京五輪開催に合わせて、ゼロコロナ政策を継続したとみられ、サービス中心に消費は低迷が続こう。

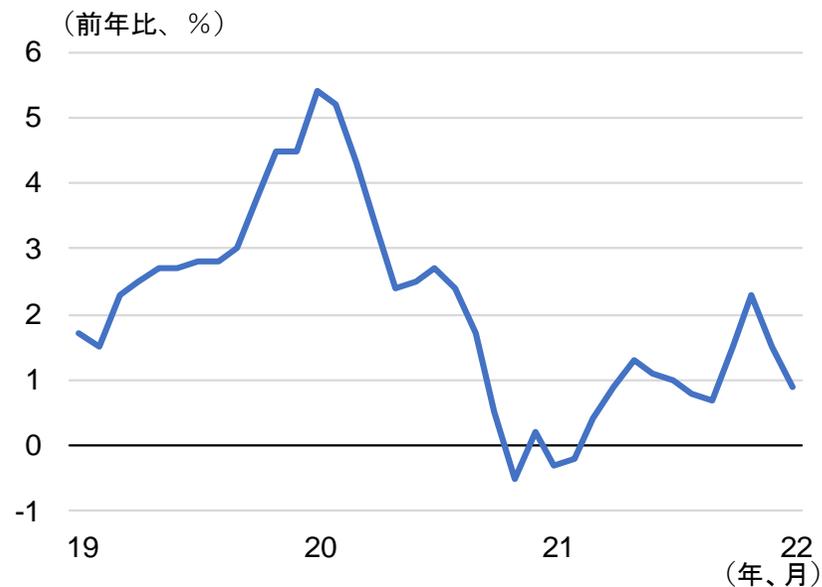
1月の消費者物価上昇率は前年比+0.9%と、豚肉を中心に食品価格の下落が続き、上昇幅は縮小した。

小売売上高(名目)



(出所) 国家統計局

消費者物価指数



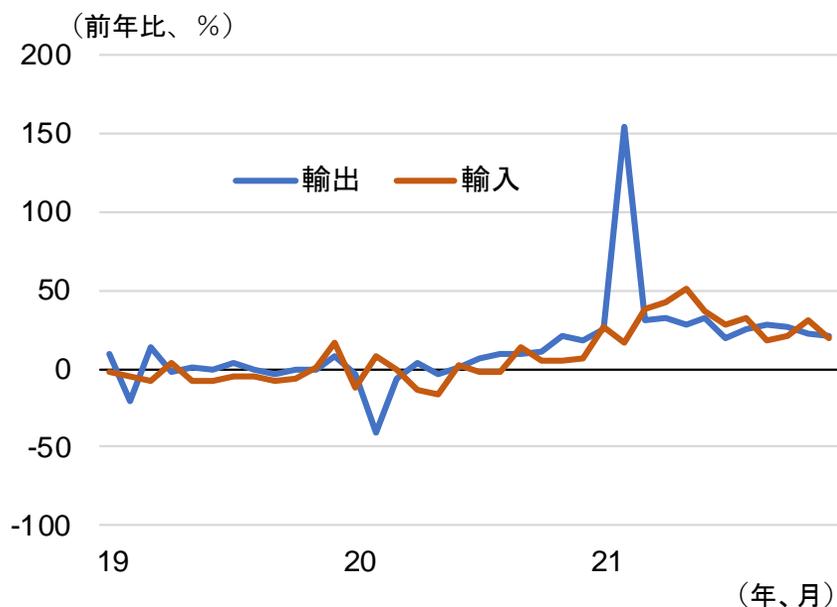
(出所) 国家統計局

輸出入とも増加が続く

12月の輸出は前年比+20.9%、輸入は同+19.5%と大幅な増加が続いた。貿易黒字は945億ドルと、前年同月(782億ドル)から拡大した。輸出は、品目別ではスマートフォンやPC、電子部品の寄与が、地域別では米国やEU向けの寄与が、それぞれ大きかった。また輸入は、需要の底堅い半導体等電子部品、価格が高騰する原油や石炭の増加が目立った。

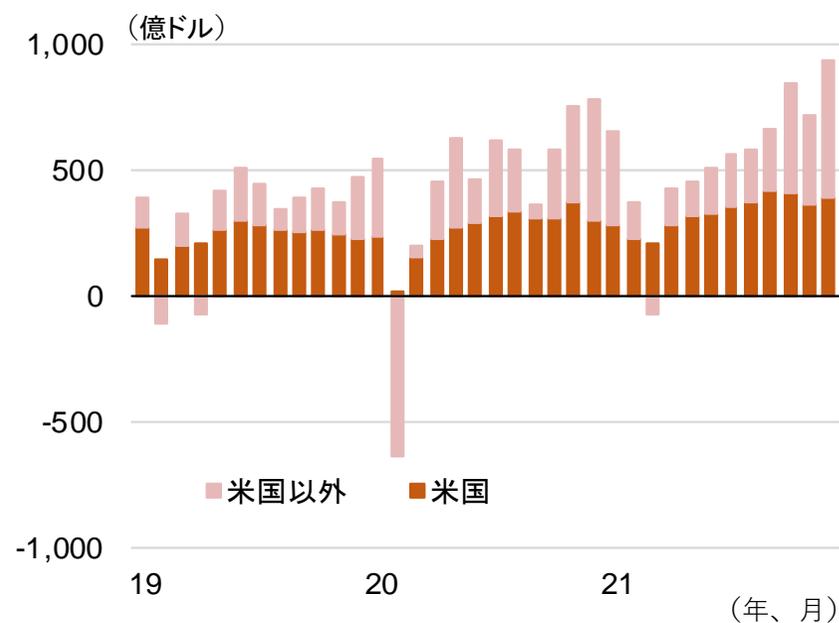
貿易収支は、対米、対EUなどで黒字幅が大きく拡大した。

財輸出入



(出所) 海関総署

貿易収支



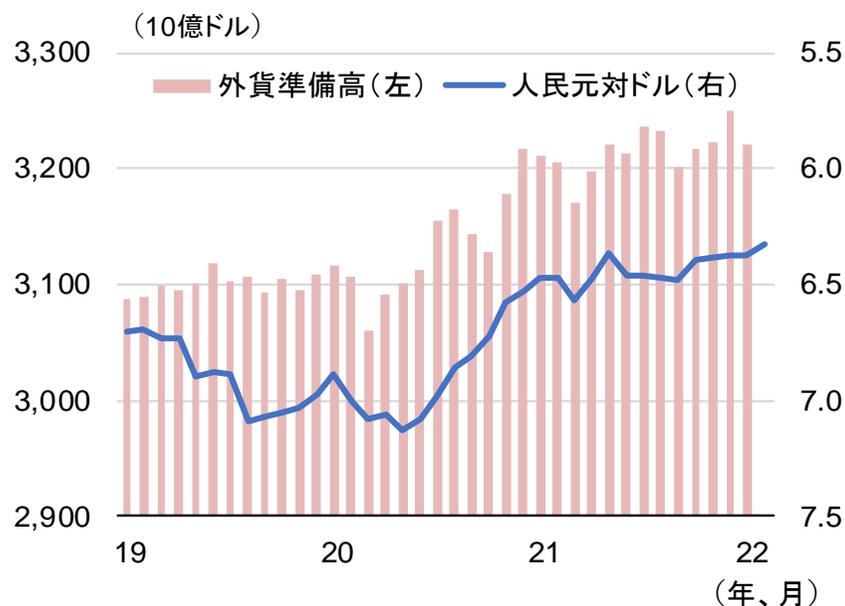
(出所) 海関総署

為替は元高、株価は低水準横ばい

人民元の対ドルレート(2月末値)は1ドル=6.32元と、2月は元高が進んだ。ロシアがウクライナに軍事侵攻を行う中、比較的安全とみられた人民元の需要が高まった。ロシア経済への依存度が低いことなどにより、中国経済への影響は小さいとの見方が背景にある。1月末時点での外貨準備高は、3兆2216億ドルと減少した。

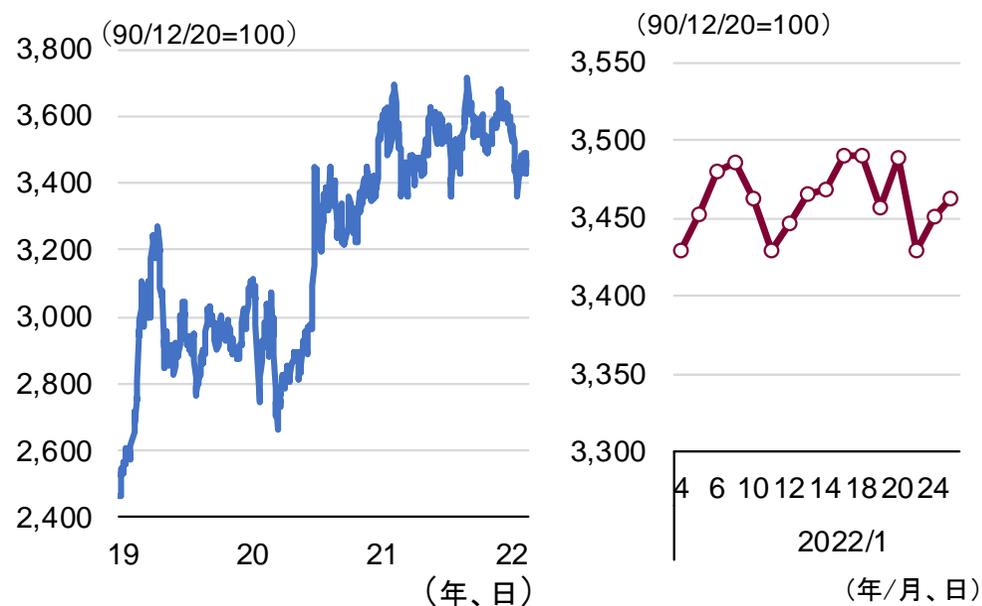
2月の上海総合株価指数は、感染拡大による先行き不安などで下落した先月末の水準から横ばいで推移した。

外貨準備高



(出所) 中国人民銀行

上海総合株価指数

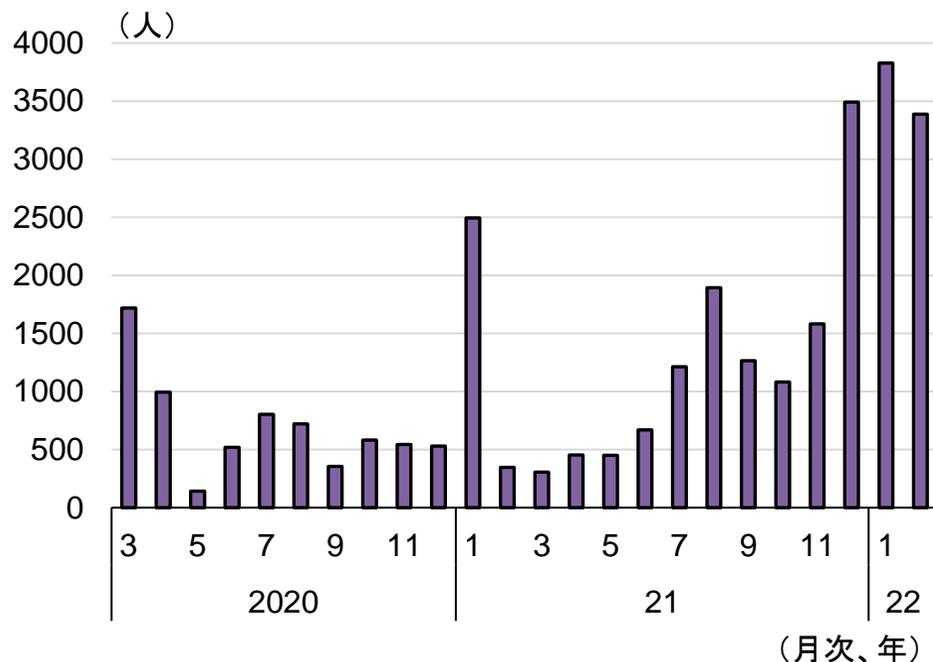


(出所) 上海証券交易所

「ゼロコロナ」政策継続で、春節・五輪も消費回復の契機にならず

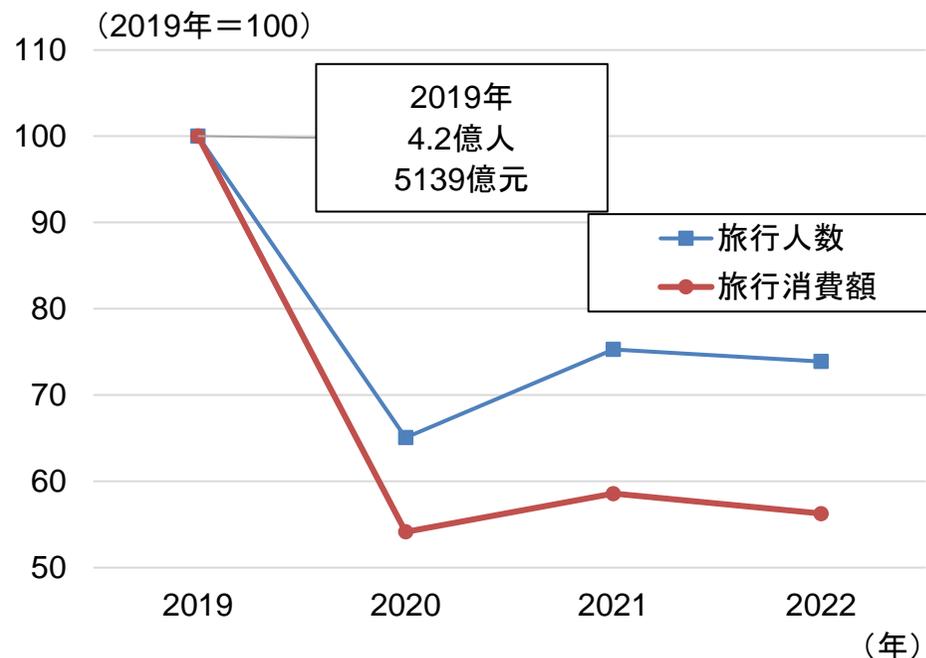
感染拡大を徹底して抑制する「ゼロコロナ」政策が続き、春節・五輪の消費拡大効果はみられなかった。昨年12月以降、オミクロン株の拡大で新型コロナ感染者数が増加した中(左図)、北京冬季オリンピック・パラリンピック開催のため、感染者の発生地域での行動制限をより一層強化した。その結果、春節休暇(1/31~2/6)の旅行者数はコロナ前(2019年)の74%、消費額は56%にとどまるなど、低迷が続いており(右図)、対面型サービス消費の回復にはまだしばらく時間がかかりそうだ。

新型コロナ新規感染者数の推移



(注)武漢で感染が拡大した2020年2月の新規感染者数は69400人だった。
(出所)国家衛生健康委員会

春節の旅行人数／消費額の推移

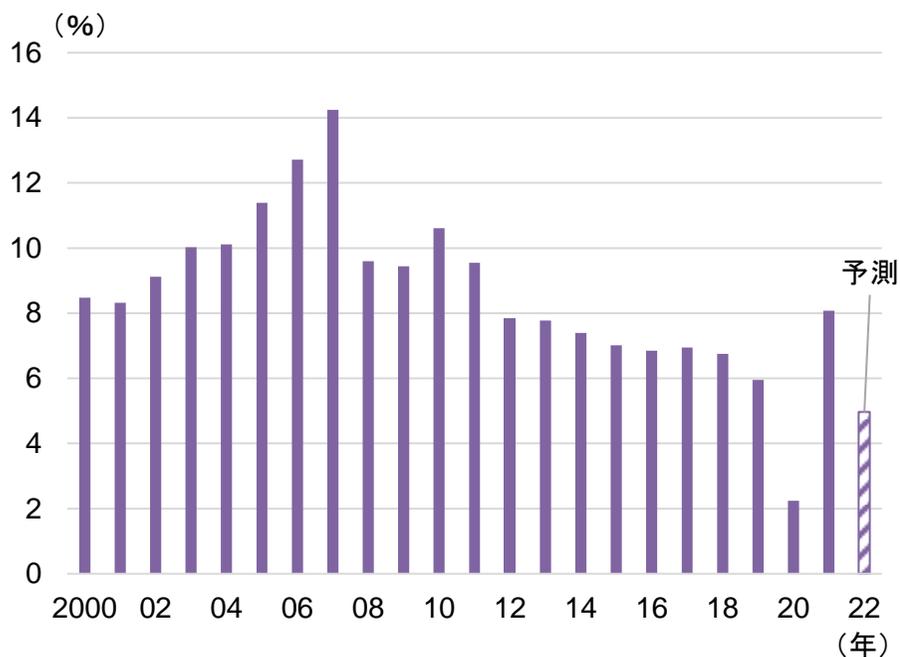


(出所) 文化和旅游部公表資料より当社作成

全人代で示される2022年の成長率目標

3月5日に全国人民代表大会(以下、全人代)が開幕する。全人代は、毎年1回、原則3月に開催され、法律の制定や予算の審査などが行われるほか、「政府活動報告」で、今年の成長率目標とその達成のための政策の枠組みが示される。特に今年の成長率目標は、政府がどの程度までの減速を許容するかという点で注目が集まる。すでに公表された地方政府の動向をみると、大半の地域で例年高めの目標が示されるが、経済規模の大きい北京、上海、広東などは中央政府に近い目標設定が行われる傾向があり、今年の成長率目標もこれら地域と同程度の5~5.5%に設定される公算が大きい。

実質GDP成長率の推移



(注) 当社予測は+5.0%
(出所) 国家統計局

各地方政府の成長率目標(2022年)

省級政府	成長率目標	省級政府	成長率目標
湖北	7%前後	湖南	6.5%以上
海南	9%	広西	6.5%以上
山西	6.5%前後	雲南	7%前後
江西	7%以上	チベット	8%前後
江蘇	5.5%以上	新疆	6%前後
浙江	6%前後	甘肅	6.5%以上
北京	5%以上	寧夏	7%
重慶	5.5%以上	吉林	6%前後
安徽	7%以上	天津	5%以上
山東	5.5%以上	河北	7%
四川	6.5%前後	陝西	6%前後
貴州	7%前後	河南	7%
上海	5.5%前後	内モンゴ	6%前後
広東	5.5%前後	黒竜江	5.5%前後
福建	7%	遼寧	5.5%以上
		青海	5.5%前後

(注) ハイライトは文中で触れた省・市
(出所) 各省の政府工作報告より当社作成

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 丸山 TEL:03-6733-1630 E-mail:chosa-report@murc.jp

〒108-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

— ご利用に際して —

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください